

2021 年度 卒業生アンケート集計

I. 調査の概要

■調査対象：

令和3年3月卒業の卒業生のうち、進路が確定していた方 114 名。

■調査方法：

調査対象者に郵送にて QR コードを載せたハガキを送付し、Google フォームにて回答。

■調査期間：

令和3年11月4日～令和3年11月26日

■回収結果：

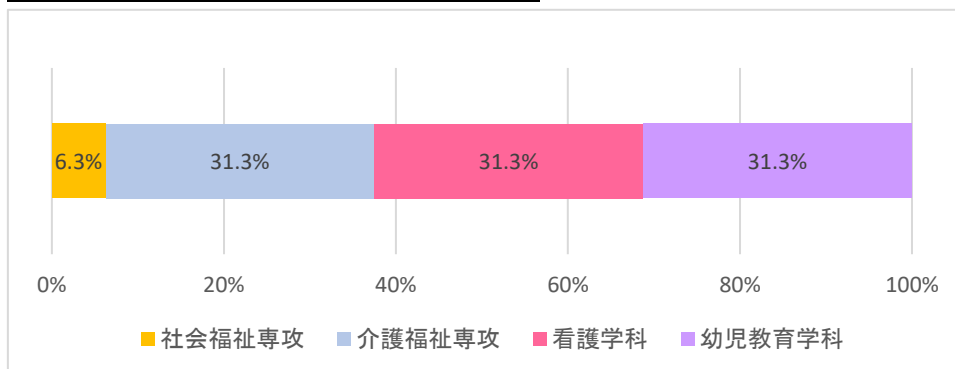
送付数：114 件、回収数：16 名（回収率 14.0%）

II. アンケート調査回答結果

1. 基本情報

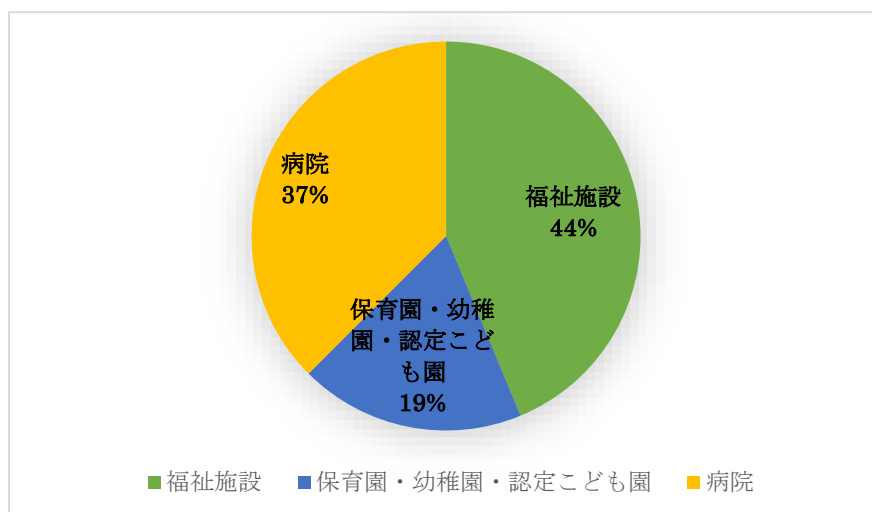
(1) 学科・専攻

	回答数	%
社会福祉専攻	1	6.3%
介護福祉専攻	5	31.3%
看護学科	5	31.3%
幼児教育学科	5	31.3%
全体	16	100.0%



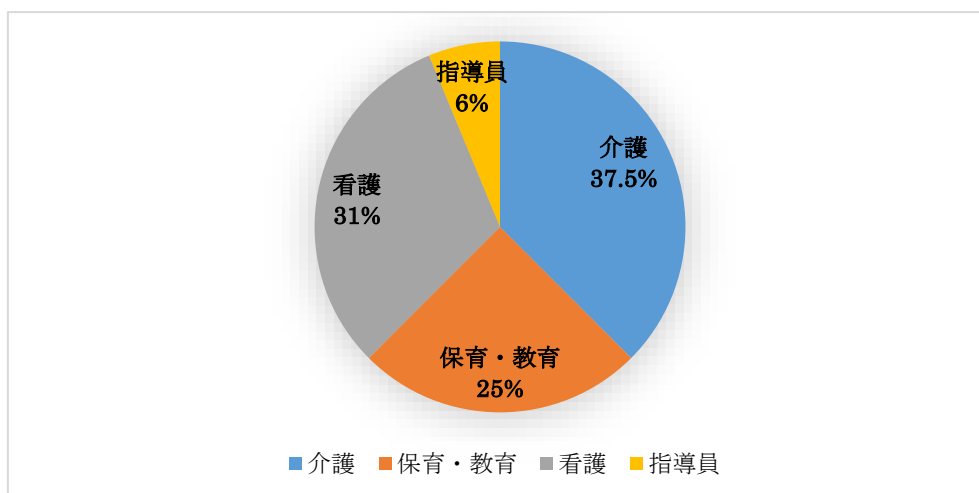
(2) 勤務先・進学先の種別

	回答数	%
福祉施設	7	43.8%
保育園・幼稚園・認定こども園	3	18.8%
病院	6	37.5%
全体	16	100.0%



(3) 主な業務内容

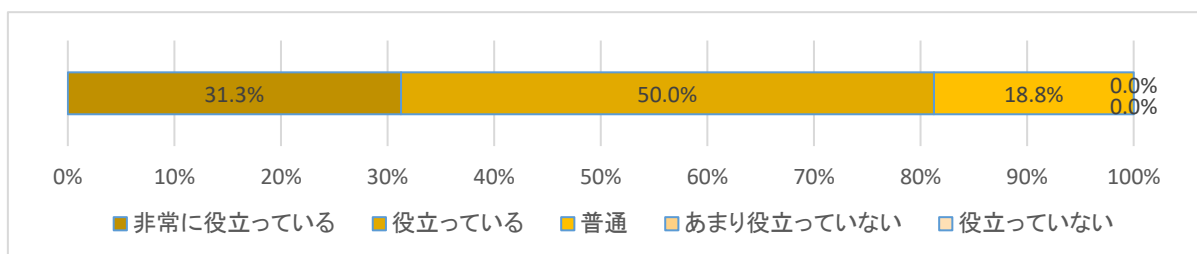
	回答数	%
介護	6	37.5%
保育・教育	4	25.0%
看護	5	31.3%
指導員	1	6.3%
全体	16	100.0%



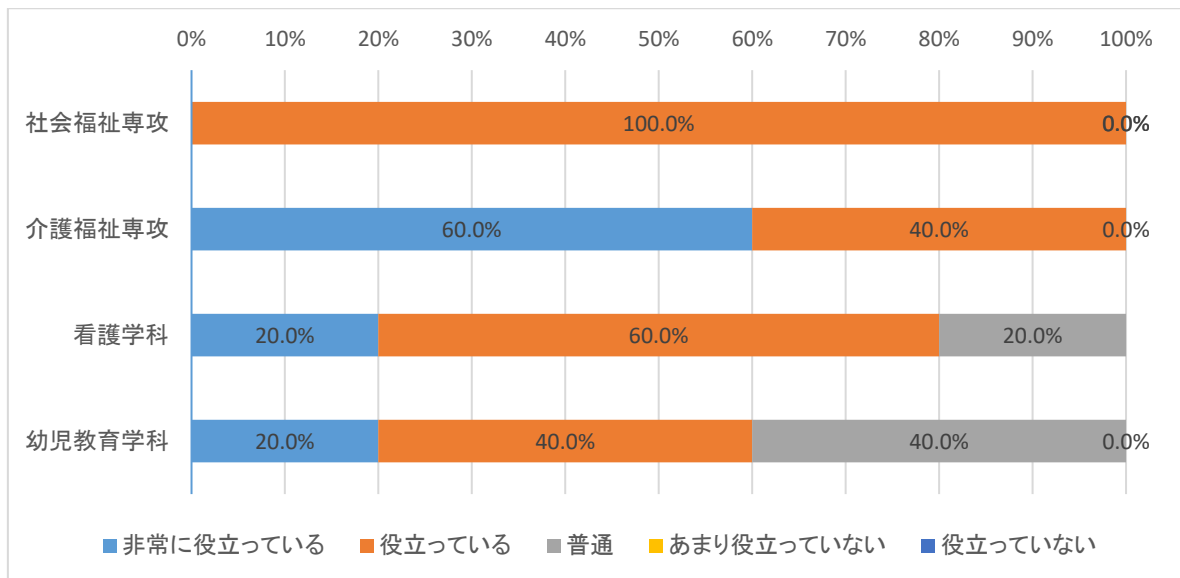
2. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「講義全般」について

(1) 本学の講義内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされていますか。

	回答数	%
非常に役立っている	5	31.3%
役立っている	8	50.0%
普通	3	18.8%
あまり役立っていない	0	0.0%
役立っていない	0	0.0%
全体	16	100.0%



	非常に役立っている	役立っている	普通	あまり役立っていない	役立っていない	無回答	全体
社会福祉専攻	0	1	0	0	0	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護福祉専攻	3	2	0	0	0	0	5
	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
看護学科	1	3	1	0	0	0	5
	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
幼児教育学科	1	2	2	0	0	0	5
	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



(2) 現在の仕事で特に役立っていると思う科目、または講義内容

【社会福祉専攻】

- ・社会福祉原論

【介護福祉専攻】

- ・コミュニケーション技術
- ・生活支援技術
- ・介護技術

【看護学科】

- ・解剖生理学
- ・臨地実習

【幼児教育学科】

- ・小川先生の授業
- ・2年生の時に助産師の先生と行った授業
- ・乳児保育
- ・保育実習
- ・特別な支援を必要とする保育

(3) 講義について、「もっと学びたかったこと・改善してほしいこと」

【看護学科】

- ・看護技術

【幼児教育学科】

- ・学童期のこと
- ・未満児について（1年目は未満児担当になることが多いから）
- ・クレーム対応
- ・強度行動障害

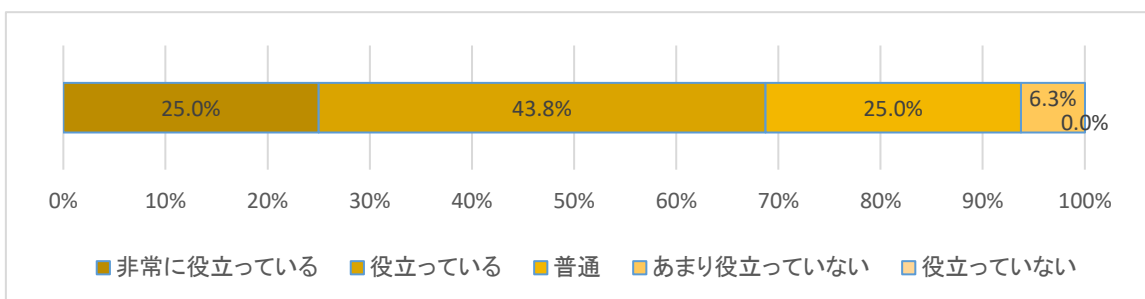
【介護福祉専攻】

- ・移乗について

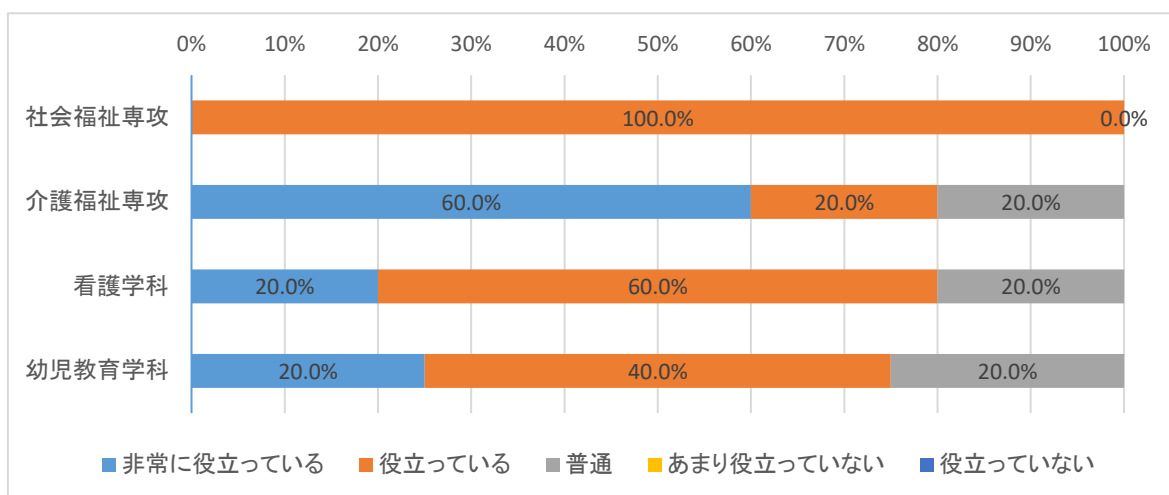
3. 現在のあなたの仕事からみた、本学の「実習」について

(1) 本学の实習、実習指導内容は、現在の業務・仕事にどの程度活かされていますか。

	回答数	%
非常に役立っている	5	31.3%
役立っている	7	43.8%
普通	3	18.8%
あまり役立っていない	0	0.0%
役立っていない	1	6.3%
無回答	0	0.0%
全体	16	100.0%



	非常に役立っている	役立っている	普通	あまり役立っていない	役立っていない	無回答	全体
社会福祉専攻	0	1	0	0	0	0	1
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護福祉専攻	3	1	1	0	0	0	5
	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
看護学科	1	3	1	0	0	0	5
	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
幼児教育学科	1	2	1	0	0	0	5
	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



(2) 現在の仕事に特に役立っていると思う実習・実習指導内容を教えてください。

【介護福祉専攻】

・記録について

【看護学科】

・アセスメント

【幼児教育学科】

・全日実習

・保育園・幼稚園実習

(3) 実習について、「もっと学びたかったこと・改善してほしいこと」

【社会福祉専攻】

・実習の機会を増やしてほしい。

【幼児教育学科】

・ピアノ

・発達障害について

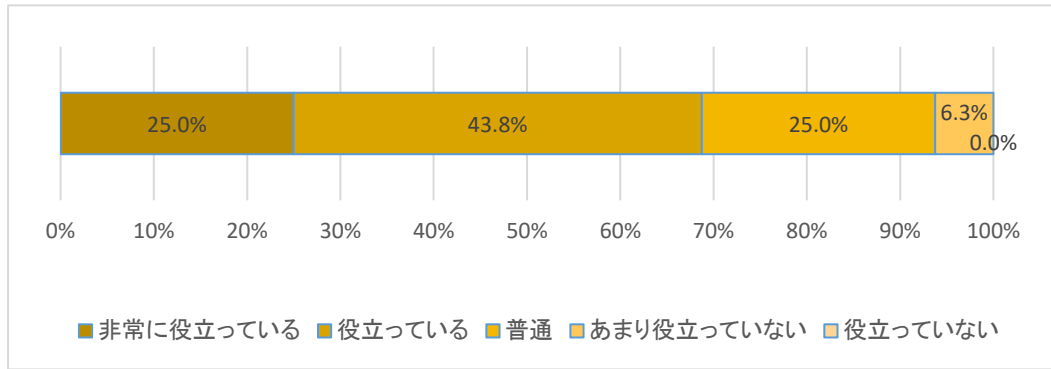
【介護福祉専攻】

・コミュニケーション力

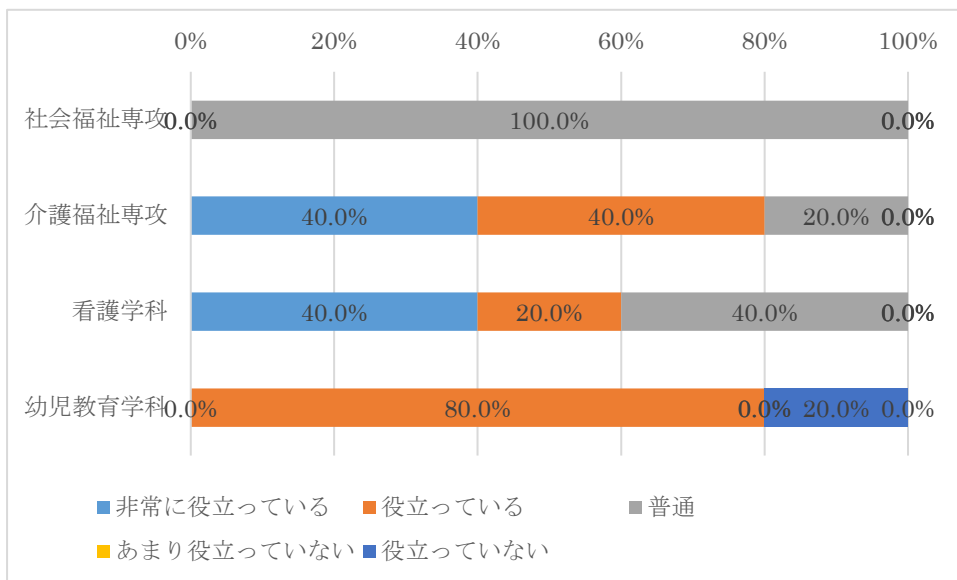
4. 本学の就職・進学支援体制

(1) 在学中、就職・進学活動を行うあなたにとって、本学の就職・進学支援体制はいかがでしたか？

	回答数	%
非常に役立っている	4	25.0%
役立っている	7	43.8%
普通	4	25.0%
あまり役立っていない	1	6.3%
役立っていない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	16	100.0%



	非常に役に立っている	役に立っている	普通	あまり役に立っていない	役に立っていない	無回答	全体
社会福祉専攻	0	0	1	0	0	0	1
	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
介護福祉専攻	2	2	1	0	0	0	5
	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
看護学科	2	1	2	0	0	0	5
	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
幼児教育学科	0	4	0	0	1	0	5
	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%



(2) 就職サポートへの要望を教えてください。

【幼児教育学科】

- ・なんでも相談できた
- ・アドバイスをいろいろな面からしてほしい

【社会福祉専攻】

- ・法人の面接試験をいくつか受ける、内定を断ることを許可してほしい。

【看護学科】

- ・先輩方がどういうところで、どんなふう働いているかもう少しわかりやすいとよい。

5. 卒業後のサポート

(1) 今後受講してみたい講座、セミナーや、開催して欲しい行事・イベントなどあればご自由にお書き下さい。

【社会福祉専攻】

- ・卒業生の意見交換会

【幼児教育学科】

- ・障害者と健常者のかかわりのあるイベント

6. 「学生時代にもっとこうしたいほうが良い」という後輩へアドバイスがあれば教えてください。

【社会福祉専攻】

- ・アルバイトは程々に

【介護福祉専攻】

- ・就職活動は早め早めに終わらせておいたほうが国家試験の勉強に時間を費やすことができる。
- ・勉強も大事かもしれないけど時間が沢山あるうちに嫌になるくらいに遊ぶのが良いと思う！
- ・もっと真面目に授業を受けていればよかったと思いました。
- ・スケジュール管理だけはしっかりとしておいたら良いかもしれないです！
- ・クラブ活動に積極的に参加してください、とても面白いです。

【看護学科】

- ・勉強は計画的に
- ・進路以外の社会に多く触れておくこと
- ・実習はほんとに現場で役に立つから一つ一つ大変だけどきちんとやるといいと思う。基礎が大事。
- ・国家試験に向けて、早め早めに過去問などに取り組むこと。

【幼児教育学科】

- ・打たれ強くなること、2年しかない短大生活を思いきり楽しむこと、友達や先生と仲良くなること。
- ・教材(ペープサート、パネルシアター等)を沢山作っておくこと。
- ・ピアノの練習をすること、製作のレパートリーを増やすこと
- ・実習先でわからないことがあれば進んで質問。働いてみて生かせることがたくさんあった。保育経験があった先生に、なんでも相談しておく。
- ・授業で習ったこと以外にも自分で専門分野を色々調べるとよい。
- ・教材(ペープサート、パネルシアター等)をたくさん作っておくこと
- ・ミルクの作り方、排便、排尿の仕方を知っておくこと。
- ・自分の意見をもって保育に取り組むこと

7. 考察

【社会福祉専攻】

- ① 回答が1名と少ないのがまず課題であり、今後は卒業時に卒後のアンケートについて伝え、回答率のアップにつなげたい。
- ② 「1. 講義全般」「2. 実習」については概ね役立っているようである。調査の結果から「3. 就職・進学支援体制」の充実や、卒業生の交流の機会などが求められている。昨年に引き続き、今年度も就職・進学が決まって2年生から1年生に対して、体験を話してもらう時間を設けたが、このような取り組みの継続が必要である。

【介護福祉専攻】

- ① 5名の回答者全員が本学の授業は役立っていると答えており、特にそう感じる科目としては[コミュニケーション技術][生活支援技術(介護)]の演習授業としている。またもっと学びたかったことには、移乗についてという記述がある。身体介護が主となる介護福祉施設においては必然ではあるが、応用力が求められる多様な要介護者に対するコミュニケーションや身体介護においては、現場に入ってから習得になる。その習得に困難性を感じているのかもしれない。授業にはより疾病や障害など特徴可した事例演習を行っていききたい。
- ② 実習については、記録の経験が役立っているという回答と、もっと学びたかったこととしてコミュニケーション力という記述がみられる。実習記録については経験した援助についての考察の記載を求めているため、回答した卒業生にとっては、現場における要介護者および自身の介護実践の振り返りなどに効果があったと感じているのかもしれない。
- ③ コミュニケーション力については1名が学びたかったと回答している。就職先アンケートからも求められる能力としてあげられていることから、社会人としての基本的な挨拶から、積極的に話しかける姿勢と個々の障害に応じたかわり方など、授業や実習、様々な活動を通してその重要性を学生に伝えていき、習得に向けた意欲を高めていきたい。

【看護学科】

- ① 回答者が5名と少ないことから今後回答数を増やす工夫をする必要がある。『本学での講義内容が役立っているか』『本学の実習、指導内容は現在の業務・仕事にどの程度活かされていますか』の質問に「非常に役立っている」が1名、「役立っている」が3名、「普通」が1名であった。役立っている内容として「解剖生理」と「臨地実習」「実習でのアセスメント指導」が記載されていた。疾患等の基本は「解剖生理」であり、それを土台に実習指導しており、現場で必要とされていることとの乖離は少ないと考える。
- ② 『もっと学びたかったこと』として「看護技術」が記載されていた。今後しっかりと演習時間の確保と自主演習を進めるなど工夫が必要である。
- ③ 『本学の就職・支援体制』については、「非常に役立っている」が2名、「役立っている」が1名、「普通」が1名であった。要望としては「先輩たちがどいうところでどんな風に働いているかもう少しわかりやすい」とい」と意見があった。「地域つくりかえ学」で卒業生を招き、仕事の状況や学生時代にやっておけばいいことなど説明してもらっているが、就職を間近に考える時期に何か検討する必要もある。

【幼児教育学科】

- ① 今年度は乳児保育、小児保健系の科目が重要とする記述が復活した。在学時に、これらの領域の重要性を意識させ、確実な知識習得ができるよう指導する。
- ② 学生時代に身につけた具体的な保育技術、また、作成した教材が現場で役に立っていることがわかる。手遊びやエプロンシアター、パネルシアターなどの技術を実習指導や関連科目で学び、また、レポーターを増やすことが今後も重要。
- ③ 障害児保育系の知識が重要とするコメントがここ数年多く見られる。保育所等で障害児の保育実践に即応することが求められていること、また、近年、放課後等デイに就職する学生が増えていることがその要因と思われる。「強度行動障害」といった具体的な項目も挙がっており、現行の科目が、現場で要請される授業内容となっているかの検証が必要。
- ④ 今年度も、学外実習体験自体を重視する指摘が複数あった。実習体験が濃密なほど、実践でやっていける実力がついていくことが推測できる。実習体験を深める指導が今後も必要。